

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひだまり水沢森下児童課 保育所等訪問		
○保護者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	※利用者実績なし	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～ 令和7年 1月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 3人
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)		(回答数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域の保育所や学佼と言った関係機関とは情報を共有し、信頼関係の構築に努めています。	日常的に利用者を観察し、様々な視点からアセスメントを取るようになっています。	事業所が行っていく支援について職員が共有し、統一した支援に繋がるよう職員間で共通理解に努めています。
2	保護者とも情報を共有し、信頼していただけるよう努めています。	保護者には丁寧にわかりやすく伝えるようになっています。	
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在、利用されている利用者がいないため事業を必要とする方の実際の問題への対応ができていません。	事業を行っている事の広報活動の少なさが、利用者がいない事に繋がっていると思われます。	実際に利用される方が出てきた時に備え、職員のスキルアップ、また地域への事業の広報活動に取り組んでいます。
2			
3			

	公表	保護者からの事業所評価の集計結果
--	----	------------------

事業所名	ひだまり水沢森下児童課 保育所等訪問支援
------	----------------------

公表日 \_\_\_\_\_ 年 月 日

利用児童数 \_\_\_\_\_ 年 月 日      回収数 \_\_\_\_\_ 利用実績無し

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。						
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。						
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。						
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。						
適切な支援の提供	5	子どもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。						
	6	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						
	7	子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。						
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。						
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。						
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。						
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。						
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。						
	15	必要ときに子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていますか。						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						
	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。						
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。						
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。						

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。						
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。						
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。						
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。						
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。						
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。						
	28	事業所の支援に満足していますか。						

公表 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日	年	月	日		
ひだまり水沢森下児童課 保育所等訪問支援	利用児童数	年	月	日	回収数	利用実績無し

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。					
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。					
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。					
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。					
5 事業所からの支援に満足していますか。					
その他のご意見	ご意見を踏まえた対応				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひだまり水沢森下児童課 保育所等訪問		公表日		令和7年 3 月 31 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3		訪問する際には、適切な教材を揃えて支援にあたりたいと思います。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		管理者・児童発達支援管理責任者・訪問支援員と適切な配置がされています。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		職員同士がコミュニケーションを図り、情報共有する事で職員が広く参画できるように努めています。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		アンケート調査を実施、保護者の意向・満足度を把握し、業務改善の取り組みを周知しています。		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		全職員共通理解のもとで、事業所全体で行っています。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	第三者による介入がないため、法人に対し働きかけを行っています。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3			より一層職員の資質向上のため研修の機会を策定し、職員を積極的に参画させていきます。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		こどもの心身の状況や家族の状況をよく聴き取りアセスメントを行い、各々のニーズを明らかにして作成しています。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3			子供の支援に関わる様々な職員に意見を聴く機会を設け、子供の意見を尊重し、最善の利益を考慮していきます。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		支援に関わる方々から意見を聴く機会を設け、検討し支援計画を作成しています。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		職員で意志の疎通、情報共有を大切し支援をおこなっています。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3			より多くの側面からアセスメントを実施していきます。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3			具体的に5W1H等を気に掛けながら支援内容を認定していきます。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		子供のニーズを多方面から総合的にとらえ、お互いに協力しあいながらチームアプローチによる支援を行っています。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		必ず朝礼を行うので、朝礼時に支援の内容や職員それぞれの役割について確認を行っています。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		支援終了後には、振り返りを行い職員間で共有しています。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		訪問先施設が自立的に考えていくことができるように支援しています。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3		保護者に承認を得たのち、子どもの写真を撮るなどしています。	支援の内容や子どもの様子、訪問先への助言等具体的に記録していきます。		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		モニタリングにより見直しが必要と判断された時は、家族・訪問先・相談支援事業所などと連携を取り、積極的に見直しをしています。			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		児童発達支援管理責任者が代表して出席しています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			今後より地域との連携に努めます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		お互いが知り得た情報を理解する事で支援に役立てています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3		職員の質向上を図るため研修等を計画し、職員を積極的に参画させています。	事業所内で気軽に自己研鑽に努める事ができるように図書整備が考えていきたいと思えます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3		関係機関・団体等と連携して、地域支援体制を構築していくようにしています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		気になる事があった場合にはその日の内に伝え、常に共通理解が持てるように努めています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		法人としてペアレントトレーニングの研修を開催しています。	多くの参加を望めるような広報活動の工夫をしていかなければならないと思えます。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		契約時に児童発達支援管理責任者が説明を行っています。	変更時の伝達はもちろんですが、定期的（年毎）な伝達も必要と思われれます。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		こどもの特性等に応じた集団生活の環境の調整や活動の流れの変更・工夫、総合的に育ちの環境を整える事ができるように説明を行っています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		こどもの支援に関わる様々な職員に意見を聴く機会を設けています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3		契約時に児童発達支援管理責任者が説明を行っています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3			助言に必要な知識の研鑽により努めていく事が必要と思われれます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3		保護者会が主催する催しについてのお知らせを事業所の玄関先を利用して提示しています。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		迅速な対応に努めています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		定期的におたよりを発行しています。	ブログについても定期的に更新していきます。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		業務上知りえた秘密を漏らすことがないように、誓約書の提出や雇用契約に明記するなどの措置を講じてます。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			保護者の負担に配慮しつつ多様な方法の中から保護者と相談しながら、柔軟な方法で対応していきます。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3			助言に必要な知識の研鑽により努めていく事が必要と思われれます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		なるべくその日のうちにカンファレンスを行なうようにしています。	効率化の観点からオンラインを活用していきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		子供の育ちの安定につながるよう、保育所等訪問支援の中で家庭生活において活かすことができる内容についても伝えていきます。	保護者の負担に配慮しつつ多様な方法の中から保護者と相談しながら、柔軟な方法で対応していきます。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		業務上知りえた秘密を漏らすことがないように、誓約書の提出や雇用契約に明記するなどの措置を講じてます。	

非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3		保育所等訪問支援実施後カンファレンス等を通じて、障害特性について理解が促されるような助言を行っています。	
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		各マニュアルを策定し、常時玄関先に提示しています。また、定期的に訓練を実施しています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			安全管理に必要な研修が必要と思われれます。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		ヒヤリハットがあった際には、翌日の朝礼時等で検討・共有し、その月の職員会議で再度振り返り再発防止に努めています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		虐待防止委員会が主体となって定期的に研修を行っています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		法人として虐待防止委員会を設置し、身体拘束についても規定を決定しています。契約する際に説明をしています。	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひだまり水沢駅東 保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0名 利用実績なし	(回答者数) 0名
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年1月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	0名	(回答者数) 0名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当事業所を利用している児童へ行う事業としており、お子様についてのアセスメント情報を得ている為、早急に対応出来ます。	日頃から、お子様の状態を観察し、毎日の活動などから多くの視点によりアセスメントを取るようにしております。	アセスメント情報に基づいて、困り感や課題等を抽出し、発達段階や特性に応じ、適切な支援や関わりができるよう検討していきます。事業所での支援状況を共有し、統一した支援に繋がられるようにしていきます。
2	日頃より、通園している保育所や学校等と情報共有や信頼関係の構築に努めており、連携が図りやすいと考えます。	関係機関とは、都度情報共有を図り発達段階等、状態を把握できるようにしております。送迎時には、お子様の様子について確認するようにしております。	日頃から、支援に関するニーズや困りごとなどについて丁寧に聞き取り、支援内容の情報共有と相互理解を図るよう努めます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用される方がいない状況により、対象児に対する支援を実践する機会がありませんでした。	利用の申し込みを受けた際には、すぐ対応できるよう、継続的に学ぶ機会が必要と考えます。	職員の専門性を高めるために、研修受講や日々の学びを通して、スキルの向上に繋がるように取り組みます。
2			
3			



	公表	保護者からの事業所評価の集計結果
--	----	------------------

事業所名 ひだまり水沢駅東 保育所等訪問支援

公表日 年 月 日

利用児童数 年 月 日 回収数 利用実績無し

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。						
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。						
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。						
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。						
適切な支援の提供	5	子どもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。						
	6	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。						
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。						
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。						
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。						
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。						
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。						
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。						
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。						
	15	必要なときに子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思えますか。						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。						
	18	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。						
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。						
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。						

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。						
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。						
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。						
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。						
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。						
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。						
	28	事業所の支援に満足していますか。						

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

ひだまり水沢駅東 保育所等訪問支援

公表日

年 月 日

利用児童数

年 月 日

回収数 利用実績無し

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。					
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。					
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。					
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。					
5	事業所からの支援に満足していますか。					
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		ひだまり水沢駅東 保育所等訪問支援				公表日	令和7年 3月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	6		子どもの発達段階や特性に合わせ、支援に必要な教具や教材を用意するようしております。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		現在、利用希望がありません。管理者、児童発達支援管理責任者、訪問支援員が対応する予定です。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		保育所等訪問支援委員会を設置し、業務改善に取り組んでいます。また、事業所内でも情報を共有し、対応や支援について検討し目標を設定していきます。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		実績がありませんが、該当者があれば、実施出来るよう体制は整えております。		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		会議や朝会等で話し合う機会を設け、課題については改善策を講じるようしております。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	現在実施しておりません。法人全体の取り組みの為、確認しながら進めていきます。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		法人内で保育所等訪問推進委員会を設置し、定期的に学ぶ機会を設けております。		
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	6		実績がありませんが、該当者があれば、アセスメントによる情報に基づいて、計画書を作成するよう体制は整えております。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		実績がありませんが、該当者があれば、会議等で全職員が情報を共有し、共通認識の下で、将来を見据え子どもの発達段階や特性に合わせ、子どもにとって適切な支援提供について検討していきます。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	6		実績はありませんが、該当者があれば、訪問先の施設担当者から子どもの支援に関するニーズや困りごと等について丁寧に聴き取り、計画書に盛り込むようにしていきます。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		支援計画については、会議等で全職員で情報を共有し、統一した支援の提供が出来るようにしていきます。		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		実績はありませんが、該当者があれば、訪問先の施設担当者から施設での生活の様子を踏まえ、多くの視点から得たアセスメントを行い、子どもの発達段階や特性を踏まえた適切な支援や関わりが出来るよう体制は整えております。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	6		保育所等訪問支援ガイドラインに沿って「子ども本人に対する支援」「訪問先施設の職員に対する支援」「家族に対する支援」「訪問頻度」「訪問時間」等を踏まえ、支援内容を設定します。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		実績はありませんが、実施する際には全職員間で情報を共有し、計画に沿った支援が提供出来るよう周知しております。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日の朝会で細部において打ち合わせを行い、それぞれの役割を確認し、職員間で共通認識の下支援が出来るようにしております。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		支援の様子について記録をし、朝会で前日の振り返りを行い課題や改善策を話し合うようにしております。		

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	6		実施する際には、訪問先の理念や支援手法を確認し、施設に合わせた支援が提供できるようにしていきます。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	6		取組状況を記録し、気付きやアセスメントによる根拠に基づいて検証し、改善策を検討する事が出来るように努めております。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		実績はありませんが、実施する際には保護者や訪問先の意向を確認し、見直しが必要かどうか検討するようにしていきます。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		管理者や児童発達支援管理責任者等、こどもや家族の状況をよく把握している職員が参画しております。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必要に応じて、関係機関と連携して支援提供できるよう体制を整えております。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		現在該当者はおりませんが、移行の際には情報共有や相互理解を図れるよう体制は整えております。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6		可能な範囲で外部研修へ参加し、職員の資質向上を図ることが出来るよう努めております。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6		法人内の相談支援事業所が参加しており、会議内容については、必要に応じて情報共有を図っております。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		毎日の申し送りや連絡帳に事業所での様子を伝え、発達状況や課題などについて共通理解を図る事が出来るよう努めております。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		法人全体の取り組みとして、家族が参加出来るような研修の場を設け、周知しております。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		実績はありませんが、該当者があれば丁寧な説明を行うよう努めます。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	6		実績はありませんが、該当者があれば適切に説明を行うよう努めます。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		こどもや保護者に意向を踏まえた計画内容になっているか確認する機会を設けます。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	6		対象者があれば丁寧に説明し、同意を頂くよう体制を整えております。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6		年1回保護者と面談する機会を設けております。その他随時相談があれば時間を設け、日頃の悩みや困り感などについてお話を聞き、助言をするようにしております。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6		父母の会の活動においては、行事に関する文書を配置したり、保護者へ周知する協力をしております。きょうだい同士で交流する機会においては、必要に応じて検討していきます。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		相談や要望があれば、時間を設け、丁寧に対応するよう体制を整えております。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月お便りの発行やブログの更新をし、支援内容や事業所での様子について周知出来るようにしていきます。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		文書や配布物、写真などを含め個人情報の取扱いには気を付けるよう日頃から職員間で確認し、努めております。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		日頃からコミュニケーションを大切に、話しやすい雰囲気作りを心掛けるよう配慮しております。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	6		訪問先からの相談等があれば、適切な助言や支援が出来るようにしていきます。	

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	6		機会があれば実施するようにしていきます。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	6		機会があれば家族等へ支援内容を共有するよう職員間で周知しております。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		文書や配布物、写真などを含め個人情報の取扱いには気を付けるよう職員間で確認し、努めております。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	6		相談があれば丁寧に対応し、関係性を深めながら適切な助言が出来るよう努めます。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルについて作成しております。玄関には閲覧用として配置し、誰でも見る事が出来るようにしております。年間計画に沿って、様々な状況を想定した訓練を実施しております。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		年間計画を作成し、計画に沿って必要な訓練や研修を行い、安全が確保された状態で支援が出来るよう努めております。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		当日や翌日の朝会で共有し、シエルモデル分析で早急に検証し、再発防止に努めております。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		全職員で研修する機会を設けたり、日頃から虐待防止について意識付けとなるよう自己チェック表で振り返りを行っております。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		身体拘束を行う場合には、職員間で話し合う場を設けます。実施する際には、丁寧に説明し、支援計画書に記載した上で実施します。	

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ひだまり水沢横町 保育所等訪問		
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日		令和7年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 0名 利用実績なし	(回答者数)	
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		令和7年1月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 3名	(回答者数)	3名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年1月6日		令和7年1月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数) 0名	(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	岩手ひだまり会では当事業所を利用している児童へ行う事業としている為、普段からのお子様の様子やアセスメントの情報が あり早急に対応出来ます。	常日頃からお子様の状況をみて毎日の活動などからアセスメントを取っています。	アセスメントの情報を細かく整理することで、必要な情報の提供が素早くできると考えます。
2	保育所や学校等と常に顔を合わせ、情報の共有を図っている為、お伝えしやすい環境作りをしています。	関係機関とは常に情報の共有を図るようにしています。毎日の送迎時には必ず、お子様の状況や様子を確認するようにしています。また、事業所の様子や学習面での情報も提供しています。	日頃からの関係作りの構築を図るため、細かい事でも情報の共有を行います。
3	保護者との連携が日常的にできている為、保育所等訪問支援の支援内容などを情報共有出来ます。	わかりやすく丁寧に伝えていきます。	保護者からわからないことや不安な事は連携を取りながら対応していきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	今現在、利用希望がない為、今後課題が出た際は対応について 都度検討します。	今現在、利用希望がない為、今後課題が出た際は対応について 都度検討します。	今現在、利用希望がない為、今後課題が出た際は対応について 都度検討します。
2			
3			

	公表	保護者からの事業所評価の集計結果
--	----	------------------

事業所名	ひだまり水沢横町 保育所等訪問
------	-----------------

公表日 令和7年 3月 31日

利用児童数 令和7年 1月 6日 回収数 利用実績無し

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。						
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。						
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。						
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。						
適切な支援の提供	5	子どもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。						
	6	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						
	7	子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。						
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。						
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。						
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。						
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。						
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。						
	15	必要なときに子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						
	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。						
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。						
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。						



	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。						
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。						
	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。						
非常時等の対応	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。						
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。						
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。						
	28	事業所の支援に満足していますか。						

公表	訪問先施設からの事業所評価の集計結果
----	--------------------

事業所名	公表日	令和7年 3月 31日
ひだまり水沢橋町 保育所等訪問	利用児童数	令和7年 1月 6日 回収数 利用実績無し

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。					
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。					
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。					
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。					
5	事業所からの支援に満足していますか。					
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひだまり水沢横町 保育所等訪問				公表日	令和7年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	3		個々に合わせた支援ツールを使用します。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		今現在、利用希望がありません。所長、児童発達支援管理責任者、保育所等訪問支援員が対応する予定です。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		保育所等訪問支援委員会を設け、法人一丸となり業務改善に取り組んでいます。また、事業所内でも情報を共有し、対応や支援について検討し目標を設定してまいります。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		今現在、利用している方はおりませんが、ご利用があった場合は保護者へ評価して頂き、業務改善につなげてまいります。		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		支援に対しては職員で検討を行い、意見を反映させながら進めます。定期的に見直しを行い、業務改善に努めます。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3		今現在、利用希望がない為、第三者による外部評価を行っておりませんが、評価結果を業務改善に繋げられるよう努力してまいります。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		法人内で保育所等訪問支援委員会を設け、定期的に研修を受講しています。		
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		今現在、利用希望がない為、保育所等訪問支援計画を作成する機会がありませんが、アセスメントシートを準備し、計画を作成する準備を委員会で行っています。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		管理者、児童発達支援管理責任者、保育所等訪問支援員を配置し、アセスメントを行い、子どもに関わる職員が共通理解したうえで計画書を作成します。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		訪問先と担任等と連携しながら保育所等訪問支援計画を作成します。訪問先や担任等の意向を確認しながら進めます。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		今現在、利用希望がない為、支援を行っていませんが、計画に沿って支援します。		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		法人内で保育所等訪問支援委員会を設置している為、共通のアセスメントツールを使用する事になっています。また、個々に応じたツールを事業所で準備し対応する事もあります。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3		保育所等訪問支援ガイドラインに沿って「子ども本人に対する支援」「訪問先施設の職員に対する支援」「家族に対する支援」「訪問頻度」「訪問時間」等を踏まえ、支援内容を設定します。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		今現在、利用希望がない為、支援を行っていませんが、計画に沿って支援します。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		支援前には十分に打ち合わせを行い、その日行われる支援内容や役割について、利用者や訪問先・担任等にわかりやすく説明を行えるようチームで連携を図り対応します。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		支援の翌日に職員間で打ち合わせを行い、行われた支援の振り返りを行い効果的だったのかを検討します。気付いた点を共有し、改善策に繋げます。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		事業所の一方的な支援方法ではなく、十分に訪問先の理念や支援手法を理解したうえで進めてまいります。		

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3		今現在、利用希望がない為、取り組む事が出来ていませんが、支援の内容は必ず、記録します。また、記録を基に支援の検証を行い改善に繋げます。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		今現在、利用希望がない為、取り組む事が出来ませんが、定期的に保護者や訪問先の意向の確認をしながら、モニタリングを行います。その際、必要に応じて支援の見直しを行います。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		基本的に普段から事業所を利用している方に対して、保育所等訪問支援を行います。常にそのこどもの状況を理解している者が参画します。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		必要に応じて、関係機関との連携を図り、情報共有を行いながら支援をします。（行政、学校、保育、障がい福祉、医療）	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		相談員を通じて、保育所や幼稚園または学校等に訪問し、情報提供を行い情報の共有を図ります。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3		定期的に外部研修へ参加しています。また、状況に応じて、専門機関から助言を受けながら支援します。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3		保育所等訪問支援事業としては出席していませんが、放課後等デイサービス事業として、療育部会に出席し、意見交換や研修会に参加しています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		今現在、利用希望がない為、取り組んでいませんが、事業所をご利用の方から要望があった場合の対応の為、常に保護者とは連携を図りながら進める事となります。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		今現在、利用希望がない為、取り組んでいませんが、事業所をご利用の方から要望があった場合の対応の為、常に保護者へペアレントトレーニング研修会へのお誘い等を行っています。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		今現在、利用希望がない為、行っておりませんが、契約の際に詳細を説明します。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		今現在、利用希望がない為、行っておりませんが、訪問前に十分な説明を行ってから保育所等訪問支援事業を進めます。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		今現在、利用希望がない為、行っておりませんが、計画を立てる際は保護者と面談を行い確認しながら進めます。また、モニタリングの際も聞き取りを行います。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3		支援計画の説明は保護者へ必ず行い、同意を得てから進めます。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3		保護者から悩みの相談を頂いた際には、早急に時間を作り面談を行います。また、相談員から悩みの情報提供を頂く場合もあり、お声掛けをさせて頂き、必要な助言を行います。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3		保護者会の活動内容を便りに載せ、配布文書は事業所入口に設置し、各保護者へ周知しています。また、保護者同士が交流できるように懇親会の機会を設けました。今後も続けて行きますので是非ご参加ください。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		毎年6～7月に保護者面談を開催しています。また、必要に応じて相談に応じ、共に考え、助言しています。申し入れがあった場合は迅速に対応するようにしています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		今現在、ご利用希望がない為、保育所等訪問支援の内容の詳細を定期的に発信する事はありませんが、今後ご利用があった際は活動概要や連絡体制等の発信をしていきます。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		定期的に職員へ周知し、個人情報取り扱いについて、勉強する機会を設けるようにしています。（朝礼・職員会議） また、内部研修でも取り入れ周知しています。	

訪問先施設への説明等	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		障がいに対する研修やその保護者への支援に対して、内部研修を行い、対応が出来るようにしています。引き渡しの際に応じ送りを行い、連絡簿にて支援の詳細を記載します。また、必要に応じて、電話等でお話をする事もあります。常にお話のしやすい環境を作るようにしています。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3		今現在、利用希望がない為、行っておりませんが、専門的知識を学ぶためのスキルアップに取り組み、体制を整備しています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		今現在、利用希望がない為、行っておりませんが、実施後は必ず訪問先施設とカンファレンスを行います。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		今現在、利用希望がない為、行っておりませんが、実施後は必ずご家族等へ支援内容の共有を回ります。保護者とも振り返りの機会を作り、検討していきます。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		今現在、利用希望がない状況ですが個人情報の取扱いについては職員間で充分、周知されています。	
非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3		今現在、利用希望がない為、行っておりませんが、事業所の一方的な支援方法ではなく、十分に訪問先の理念や支援手法を理解したうえで進めていきます。そのうえで、訪問先施設で取り組める内容を専門的に伝えます。	
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		各マニュアルは、保護者がいつでも見られるように事業所出入口付近に設置し、便りで周知しています。発生した際の訓練や勉強会を実施しています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		安全計画を実行し、リスクマネジメント研修等必要な研修に参加し訓練を行っています。危険箇所があった場合は、職員間で検討し対策を講じています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		ひやりはっとが発生した際は早急に対策について話し合い、対応します。広い視野を持ち検討出来るようにSHELモデルを用いて検討するようにします。ひやりはっとと対策については便りで保護者へ周知します。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		事業所毎に委員を設置し、法人内で委員会を開催しています。また、法人内で研修の機会を設け参加しています。年に3回人権擁護チェックに取り組み支援の振り返りを行っています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		身体拘束を行う際は法人全体に周知し、対応するようにしています。また、身体拘束を行う際は、都度支援の見直しを行う為、会議を開き検討するようにしています。保護者にも都度説明を行いながら進めます。	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひだまり胆沢（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	※今年度利用実績なし ～		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日 ～ 令和7年1月14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○訪問先施設評価実施期間	※今年度利用実績なし ～ 年 月 日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	構造化により利用者に視覚によりスケジュール等が確認できている。安心して活動している。	ホワイトボードにスケジュール等を表示し、利用者が視覚的に確認できている。	利用者が来た際に、声掛けをし、スケジュールを確認するという工程を定着させる。
2	利用児童の発達段階に応じた課題が設定できている。	アセスメントをきちんと行った上で、課題の設定を行っている。	毎日の支援内容を振り返った上で、翌日以降の支援に反映できるようにし、課題についても見直しができるように対応していく。
3	利用者一人ひとりに個別の支援が確実に行われている。	職員の利用者の活動担当を決めた上で、支援を行っている。	利用者が安全に活動できるよう、職員が確実に見落とさないようにするとともに、職場内外の研修に参加しスキルアップを図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が掲示しているマニュアル及び非難訓練等の実施が、保護者に知れ渡っていない。	帰りのお迎えの時に説明し、その旨を連絡帳に記載したり、月1回のひだまり通信で避難訓練の様子を写真を入れて掲載しているが、もう一歩踏み込んで説明することが必要。	非常時の発生に備えたマニュアルの確認、訓練、連絡網の確認を確実にを行った上で、保護者に積極的に情報を発信し情報共有を図る。実際に行った様子の写真を玄関口に張り出す等の視覚化を行い保護者の迎えの際に説明する。
2	保護者参加の行事の周知が遅れている。	新たな行事等で内容を吟味していたため、周知が遅れた。	保護者対象の行事は、参加しやすい内容とし、一月以上前に連絡し周知を図る。 週1回利用の方への連絡が遅れがちなので直接電話等で連絡し周知を図る。 内容充実のため、職員のスキルアップを図る。
3	個別の部屋が確保できないなど、活動のスペースが限られる。	借家のため、構造的にスペースを変更できない。	成長段階、活動内容に応じた場所の設定を常に考え、パーティションで仕切りをつけるなどの配慮が必要である。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 ひだまり園児 (保育所等訪問支援)

公表日 令和7年3月31日

利用児童数

令和7年2月1日 0人

回収数

利用実績無し

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。					※今年度は利用実績がありませんでした。	
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。						
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。						
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。						
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員(職種や人数)体制だと思いますか。						
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。						
	8 保育所等訪問支援計画(個別支援計画)には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。						
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。						
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。						
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。						
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。						
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていますか。						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。						
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。						
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。							

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。						
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。						
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。						
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。						
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。						
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。						
	28	事業所の支援に満足していますか。						



公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和7年3月31日

ひだまり憩沢（保育所等訪問支援）

利用児童数

令和7年2月1日 0人 回収数 利用実績無し

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。				※今年度は利用実績がありませんでした。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。					
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。					
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。					
5	事業所からの支援に満足していますか。					
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひだまり組沢（保育所等訪問支援）				公表日	令和7年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	6			今年度実績なし	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			配置異数は適切だが、訪問支援員の配置がなかった	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		朝会等で確認している。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3		今年度実績なし。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		朝会、職員会議等で意見集約し、検討している。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		今年度実施していない。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		内部、外部の研修に参加の機会を設けている。		
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2	4		今年度実績なし。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1	5		今年度実績なし。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。		6		今年度実績なし。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		6		今年度実績なし。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		特性を理解し日々の行動観察を行いながら職員間で情報共有している。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	今年度実績なしだが、体制は整えている。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。		6		今年度実績なし	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	今年度実績なしだが、体制は整えている。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	今年度実績なしだが、体制は整えている。		
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。		6		今年度実績なし		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	1	5		今年度実績なし		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1	5		今年度実績なし		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	3		今年度実績なし
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3		今年度実績なし
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	4		今年度実績なし
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6		機会があれば参加している。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	5		今年度実績なし
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	3		今年度実績なし
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		今年度実績なし
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	契約時に行っている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。		6		今年度実績なし
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	4		今年度実績なし
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	1	5		今年度実績なし
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6		今年度実績はないが体制は整えている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		今年度実績はないが体制は整えている。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		今年度実績はないが体制は整えている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	今年度実績はないが体制は整えている。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		今年度実績はないが体制は整えている。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1		今年度実績なし
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	6			今年度実績なし
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	1	5		今年度実績なし
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	1	5		今年度実績なし
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	2		今年度実績なし

非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	4		今年度実績なし
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		今年度実績はないが体制は整えている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		今年度実績はないが体制は整えている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		今年度実績はないが体制は整えている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		必要に応じ機会があれば研修に参加している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	4		今年度対象者はない